

病院お仕事体験フェア『ハロー!ホスピタル』開催報告



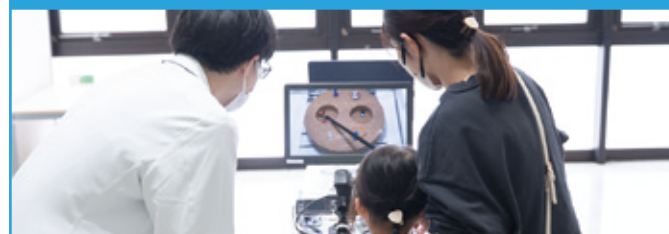
2025年10月25日(土)、地域みなさんに病院をもっと身近に感じていただきたいという思いから、小・中学生向けの病院お仕事体験フェア「ハロー!ホスピタル」を初めて開催しました。医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師・リハビリテーションスタッフなど多くの職種が協力し、実際の現場や機器を使った体験を通して、医療の仕事のやりがいと、チームで支える医療の姿をお伝えしました。

実施日 2025年10月25日(土) 10:00～15:00

会場 京都医療センター **参加費** 無料

体験ブースのようす

外科系診療科 | ドクターになろう! 腹腔鏡手術体験



医師が練習に使う腹腔鏡手術の器具を使って、モニターを見ながら細かな作業に挑戦しました。

放射線科 | X線で箱の中身をのぞいてみよう



放射線で箱の中身を当てるクイズに、子どもも大人も夢中になっていました。

看護部 | 赤ちゃんのお世話をしてみよう



赤ちゃん人形を使った沐浴やおむつ替えを体験。みんな優しい手つきです。

消化器内科 | 胃カメラをさわってみよう!



内視鏡を実際に動かしながら、カメラ検査の流れを学びました。

今回誌面でご紹介しきれなかったブースを含め、当日は全26の体験ブースが勢ぞろいしました。イベントレポートをホームページで公開中です。

各ブースでのお写真とスタッフのコメントを掲載しています! ▶

イベントレポート: ハロー!ホスピタル2025

<https://kyoto.hosp.go.jp/html/guide/hospinfo/hellohospital/report2025.html>



今号の表紙 真珠を目に例えて、貝のまぶたで隠れる様子を表現しました。



独立行政法人国立病院機構

京都医療センター

National Hospital Organization Kyoto Medical Center

発行元

うづらだより 第165号 2025 Winter

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 広報戦略室

〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1 TEL: 075-641-9161(代表) FAX: 075-643-4325

2025.12



うづらだより



眼瞼下垂のお話

うづらトピックス

見えにくさの原因、まぶたかも?

お薬トリビア

薬剤師がお薬の疑問を解決!

Volume

165

2025
Winter

うづらトピックス

＼ 京都医療センターさん、これ気になります！

このコーナーでは、毎回身近な病気や医療をテーマに解説します。

今回のテーマ

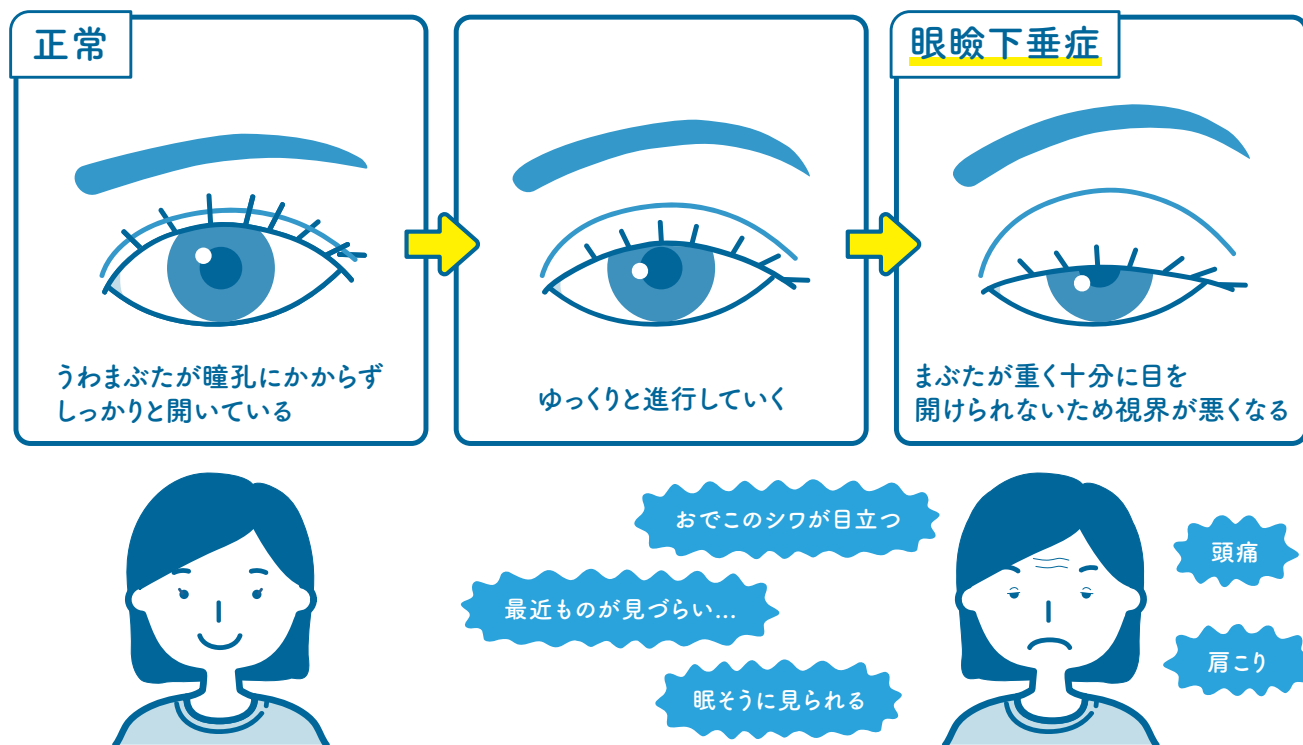
眼瞼下垂症

がんけんかすいしょう

眼瞼下垂症とはどんな症状でしょうか？

眼瞼下垂症は加齢などが原因でまぶたを上げる力が弱くなり、十分に目が開けられなくなる症状です。進行すると視界をさえぎり物が見えにくくなります。また、頭痛や肩こりなどの原因になることもあります。

代表的な症状



眼瞼下垂症は意識しないうちに進行します

眼瞼下垂症はゆっくり進行するので本人は気づかないことがあります。

「最近ものが見づらい」「眠そうに見られる」「おでこのシワが目立つようになった」などが進行のサインです。また、鏡を見たときにまぶたが瞳孔（黒目の中心）にかかっているようであれば、かなり進行した状態です。

眼瞼下垂症は治療が可能です

2時間程度の日帰り手術で治療が可能です。内科的な病気をお持ちの方や、抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）を飲まれている方は入院での手術も選択でき安心して治療を受けていただけます。手術後は「視界が良くなり明るく感じられるようになった」「新聞や本、テレビが見やすくなった」「まぶたが軽くなり楽になった」など、喜びの声をお聞かせいただいております。

形成外科診療科長
海透 修子



先生からのアドバイス



ピックアップニュース

がん市民公開講座「がんと認知症 ～家族ががんになったら～」動画公開中

2025年10月開催のがん市民公開講座「がんと認知症～家族ががんになったら～」のアーカイブ動画を公開中です。精神科医長・杉田尚子医師が「がん」と「認知症」をテーマに、年齢を重ねる中での発症リスクや、治療や生活の選択の難しさ、医療現場での対応や支援の工夫をわかりやすく解説しています。講座に参加できなかった方も、ぜひホームページをご覧ください。



アーカイブ動画のご視聴はこちらから



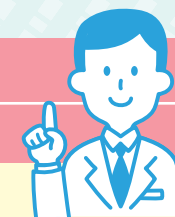
薬剤師がお薬の疑問を解決！



お薬トリビア



薬剤部 辰己 晃造



お薬を飲んでいて疑問に思うことはありませんか？患者さんからの「よくある質問」についてQ&Aでお答えします！

Q

電子処方箋って何ですか？

A

これまでのように「紙の処方箋」を受けとる代わりに、通信ネットワークを使って処方内容を安全に確認する仕組みです。患者さんが調剤薬局に紙の処方箋を持って行かなくても、病院と調剤薬局が電子的に情報（処方）を確認できるようになりました。

電子処方箋のメリット

- 電子処方箋では、複数の医療機関・調剤薬局からのお薬情報を正確に確認することができるため、飲み合わせの悪い薬などをチェックしてもらえるので、より安心してお薬を受けとることができるようになります。
 - 進学や転勤など生活環境の変化により、医療機関・調剤薬局を変更した場合でも医師・薬剤師等がお薬情報を正確に確認することができます。また、災害時などでも、常用している薬を医師・薬剤師等が確認できるようになります。
- ※いずれも、お薬情報を確認するには患者さんの同意が必要になります。
- マイナンバーカードがあれば、マイナポータルから、過去のお薬情報を確認できます。マイナポータルとつながっている電子版お薬手帳アプリを使うと、最新のお薬情報がスマホで見られるようになります。

注意点

- 電子処方箋はまだ全ての医療機関・調剤薬局で対応することができないため、当面は紙の処方箋も併用されます。

次回のお薬トリビアも「よくある質問」についてお届けします

シリーズINTERVIEW / Personality 岸本 香織さん



過去の放送はこちらから

FM845 京都リビングエフエム

毎月最終火曜日 14:05～14:30 放送

FM845「カラダ元気」出演報告

2025.10.28 消化器内科 診療科長 上尾 太郎

「内視鏡検査を受けましょう」

胃・大腸内視鏡検査の必要性に加え、受診のタイミングや検査前の準備について、分かりやすく紹介しました。

2025.11.25 認知症ケア 専門看護師 兼田 浩美

「認知症になっても自分らしく生きる」

認知症の方が自分らしく過ごせる支援や、認知症の介護をする際の関わり方などをお伝えしました。

2025.12.23 ラビッドレスポンスチーム 医師 益永 信豊、看護師 山本なお美

「RRT(院内迅速対応チーム)について」

RRT(院内迅速対応チーム)の説明や必要性、活動についてお話ししました。